

奥会津には語り継ぎたい物語があります。
未来への架け橋となるエネルギーがあります。



奥会津地域は東北電力が戦後まもない会社草創期より電源開発に取り組んだ、管内最大の水力発電地帯です。まさに東北電力のルーツとも言えるエリア。「みお里」は只見川水系における電源開発の歴史や水力発電の仕組み、そして奥会津地域が持っているさまざまな魅力を発信します。

7つの水力発電所は今や奥会津の風景そのもの。一大電源地帯として歩み続けています。



只見線は「紅葉の美しい鉄道路線」第1位!

只見川と共に奥会津を象徴する風景をつくるのが只見線です。秘境ローカル線として人気で、全国紙の「紅葉の美しい鉄道路線ベストテン」で第1位に選ばれました。乗って、眺めて、「水脈のふる里」の息吹を体感してください。



7町村の個性あふれる魅力も発信。脈々と受け継がれる「水脈のふる里」の営みがここに。



奥会津には、雪に閉ざされる期間に磨かれた手仕事や保存食など独自の伝統・文化が受け継がれてきました。厳しい気候や地形を資源として生かす数々の知恵や工夫。「みお里」はプリズムのように、その魅力を多彩なきらめきとして表現します。



ご案内

- 開館時間：午前10時～午後4時30分
※入館は午後4時までにお願いいたします。
- 休館日：毎週月曜日
※月曜日が祝日または振替休日の場合は翌火曜日
年末年始
- 入館料：無料
- アクセス
- 車利用

| | | | |
|---|----------|--------|-------|
| 磐越自動車道 | 会津坂下IC | 国道252号 | 約40分 |
| 東北自動車道 | 西那須野塙原IC | 国道400号 | 約145分 |
| 関越自動車道 | 小出IC | 国道252号 | 約135分 |
| ※国道252号(新潟県魚沼市～福島県只見町)は冬期間積雪のため通行止めとなります。 | | | |
| 東北電力 奥会津水力館 みお里 | | | |

乗って、撮って、見て楽しむ只見線!
いくつもの鉄橋を越え、トンネルを抜け
奥会津めぐり。

「みお里」について

「みお」は「水脈」を表し、只見川のことを指しています。奥会津地域を流れる只見川の水が、豊かな暮らしを支えてくれていることから、「水脈のふる里」との想いを込めて名づけました。奥会津の山の連なりをイメージさせる屋根の軒のライン、周囲の自然環境と調和する木材を使った外観が特徴的です。



東北電力初の本格的な水力発電のPR施設
**東北電力奥会津水力館
みお里 MIORI®**

入館無料



「みお里」の魅力を動画で発信中
企画展などの最新情報もこちらから▶ [みお里](#)

Official Website [You can see the contents of this pamphlet on the official website.](#)
English 簡体中文 繁体中文



より、そう、ちから。
東北電力

七色にきらめく時間がここに…五感ときめく創意あふれる展示をお楽しみください。

只見川の恵みと暮らしをメインテーマに描いた「絵画」と光の芸術「ステンドグラス」を中心まで鑑賞

①只見川ギャラリー

12名の著名な作家による絵画の協演

水の流れが電気を生み出すエネルギーとなり暮らしや文化を支えていく過程を、「水源」「川」「水力発電施設」「灯り」の4つのテーマで、12名の著名な作家に描いてもらいました。奥会津に実際に足を運んでインスピレーションを得た作家たちの個性あふれる力作をじっくりとご鑑賞ください。

*【作家名】

安西水丸・小渕もも・小池アミゴ・高橋キンタロー・竹井千佳・民野宏之・深谷良一・舟橋全二・星野哲朗・水沢そら・矢吹申彦・山田博之（敬称略）



幅7m! 圧巻のステンドグラス

絵画をご鑑賞いただいた後に続くのが「奥会津讃歌」をテーマに制作された巨大ステンドグラス（縦2m×横7m）。日本のステンドグラス制作の第一人者、臼井定一氏（福島県生まれ）の作品です。自然光によって醸し出されるさまざまな表情を春夏秋冬、天候の移ろいによってもお楽しみいただけます。ステンドグラスを鑑賞するためだけにつくられた特別な空間で、1年を通じて多彩に織り成される“光の芸術”をご堪能ください。



◀奥会津の山々の稜線をイメージし、只見川の流木で作られたベンチ。ゆったりと荘厳なひとときをどうぞ。

楽しい演出に好奇心ふくらむ
学びワールド

②水力スクエア

只見川流域の地形を表したプロジェクションマッピングのジオラマや空中ディスプレイなど視覚的にも楽しい展示を通して、水力発電をはじめ再生可能エネルギーなどについて学べます。



プロジェクションマッピングが投影する映像はとてもダイナミック。

③地元逸品ギャラリー

片岡鶴太郎氏の描く奥会津の7町村

④水力シアターホール

ドローン映像にホログラム風CGを融合した表現や記録写真とアニメーションを組み合わせた描写など、わくわくするようなシーンが展開します。



◀片岡鶴太郎氏の創作風景を映像でもご紹介。どんな画材や技法を使われているのか、独創的な作風の秘密が明らかに！



「みおり」を拠点に奥会津めぐりをお楽しみください。

只見町 三島町 金山町 柳津町 昭和村 新潟県 南会津町 檜枝岐村 福島県

迫力あふれる16面の
大型マルチディスプレイ

⑤只見川と白洲次郎

ドローン映像にホログラム風CGを融合した表現や記録写真とアニメーションを組み合わせた描写など、わくわくするようなシーンが展開します。

【上映タイトル】

- ①水力発電のしくみと発電所紹介
- ②只見川の電源開発と東北電力の取り組み
- ③奥会津に生きる一自然と暮らしの暦一
- ④片岡鶴太郎奥会津を描く

映像のプロが評価する

★ 栄えある賞を受賞！

③は「プロフェッショナルが選ぶ、プロフェッショナルの仕事にふさわしい作品」を表彰する映文連アワード2021の部門優秀賞に選ばれました。



◀伝説の椅子に座って写真を撮ってみよう！
白洲次郎がデザインしてマッカーサー元帥に贈った椅子（複製）。

東北電力初代会長は、
あの“ジェントルマン”

⑥MINAMOラウンジ

東北電力初代会長である白洲次郎が関わった只見川の電源開発を紹介とともに、白洲次郎の生涯や人間性について詳しく知ることができます。



◀白洲次郎がデザインしてマッカーサー元帥に贈った椅子（複製）。



只見川の清流を望む癒しのスペース
只見川と白洲次郎



川の流れや木の葉をイメージしたオリジナルの椅子やテーブル、水面を波立たせる風を表現した壁面のインテリア。そして雄大な只見川を望む見晴らしの良いロケーション。癒しに満ちた空間でゆっくりとおくつろぎください。

* MINAMOラウンジからは只見線の列車が走る姿も見られます。

⑦水車ランナ

60年稼働した水車ランナ

7水車ランナ

7水車ランナ



本名電所で約60年稼働した水車ランナの6枚のフレーム（羽）の一枚を実物展示しています。

無料貸出スペースもあります

企画展示室は絵画や写真など作品を展示する場として、「多目的スペース」は各種教室や会議などに。アーティストや地域の団体の表・交流の場としてご利用いただけます。



企画展示室
多目的スペース

フロアガイド



【お願い】

- 「水力シアターホール」「只見川ギャラリー」「地元逸品ギャラリー」では、写真や動画の撮影はご遠慮ください。
- 「MINAMOラウンジ」でのみ飲食可能ですが（飲酒は不可）。ゴミはお持ち帰りください。